

# 沖縄・玉城知事が松代壕視察

## 平和学習連携へ意欲

沖繩毎日新聞  
信濃毎日新聞  
× 琉球新報

沖繩県の玉城デニー知事が16日、長野市の松代大本営地下壕(松代壕)を視察した。玉城知事は、松代壕の保存状況や工事の様子を知ることができたことと視察の手応えを強調。戦争を知らない世代が大半を占める中、「戦争の実相と教訓を次世代に継承する」とは私たちの重要な責任の一つだ」と述べた。【関連記事29面に]



松代大本営地下壕を視察し、突き刺さった削岩機のロッドを見つめる玉城・沖繩県知事(右)。16日午前9時15分、長野市松代町西条

えて政府機関などを移転する。松代壕建設に取りかかる。沖繩では持久戦を強い

た。昨年迎えた沖繩の日本復帰50年に合わせた信濃毎日新聞と琉球新報の連携をきっかけに、沖繩戦研究者らでつくる訪問団が発足。松代壕を視察するなど市民レベルで学び合う動きが生まれている。視察後の取材では、玉城知

## 実のある交流どう実現

戦争を知らない世代が大半となる中、戦跡保存の重要性は増すばかりだ。ロシアのウクライナ侵攻などを踏まえて日本の安全保障政策は大きく転換しつつあり、私たち一人一人が、過去に目を背けず、どんな「平和」を描くべきかを考えることが大切ではないか。それはまた、戦後80年近くを経ても過重な米軍基地負担が長く沖繩に思いを致す基盤にもなるだろう。

## 過去を直視し 平和へ一歩を

「交流の一つの側面に、平和学習を含めた取り組みがある。石垣島に陸上自衛隊駐屯地が開設された16日、貴重な時間を割いて長野市の松代大本営地下壕(松代壕)を訪

れた沖繩県の玉城デニー知事の言葉には、長野、沖繩両県の連携を表面的な連携にとどまらせたくないとの思いがにじんでいた。

「松代は難しい」。昨年の沖繩の日本復帰50年に合わせた信濃毎日新聞と琉球新報の連携を機に、大正洋戦末期、政府機関を移転するために築かれた松代壕の取材を深めた際、幾度も耳にした言葉だ。諦めにも近い。

長野側では「平和」や「戦争の記憶の継承」を望みながらも、壕の掘削に動員した朝鮮人労働者を巡る加害性への認識や政治思想の違いを背景とした対立を嫌い、松代壕を話題にするのも避ける人がいる。そうした対立のせいか、松代壕はいまだに文化財指定もなされていない。

玉城知事が訪ねた松代壕には、前日に華々しく連携協定を結んだ長野側の関係者の姿はなかった。沖繩側も平和交流の具体的なイメージは示せていない。両県の連携を真に実のあるものにできるかどうかは、長野側の意識の持ち方や、双方の取り組み方に懸かっている。(竹越萌子)

## 戦争の恐怖感じる今こそ

### 玉城氏松代訪問 琉球新報記者の目

沖繩県知事による長野市松代大本営地下壕(松代壕)訪問から一夜明けた17日、沖繩危機感を訴えた。国体を守るの日本復帰50年の節目を迎えた昨年からの信濃毎日新聞と連携する琉球新報の中村万里子記者に、知事訪問や教訓を受け継ぐ意義について寄稿してもらった。

玉城デニー・沖繩県知事が松代壕を訪れた16日、石垣島に陸上自衛隊駐屯地が開設された。沖繩戦体験者らは日米

沖繩毎日新聞  
信濃毎日新聞  
× 琉球新報

沖繩県は、旧日本軍が那覇市の首里城地下に築いた第32軍司令部壕(32軍壕)の保存と一部公開に向けた調査を進めている。松代壕の取り組みを参考に狙いで、初訪問が実現した。

地元のNPO法人松代大本営平和祈念館が一般公開されている。象山地下壕を案内。玉城知事は、自身のスマートフォンで写真を撮るなどしながら1時間ほどかけて内部を見て回った。岩に突き刺さったままの削岩機のロッドを見た際には、岩盤をダイナマイトで爆破する方法を尋ね、工事で多くの朝鮮人労働者が犠牲になったことなどを聞いた。

旧日本軍は本土決戦を見据



地下壕内で写真を撮る玉城デニー・沖繩県知事(中央)。16日、長野市松代町西条(中村桂吾撮影)

する。松代壕は、大本営が本土決戦最後の拠点として皇居や政府などの移転を計画。1944年11月から約9カ月の突貫工事で、多くの朝鮮人労働者が「く」になった。一方、沖繩戦で32軍司令部は、国体護持

松代壕は、大本営が本土決戦最後の拠点として皇居や政府などの移転を計画。1944年11月から約9カ月の突貫工事で、多くの朝鮮人労働者が「く」になった。一方、沖繩戦で32軍司令部は、国体護持

第32軍司令部壕の保存・公開を求める会 080-6499-5356 32shuri@gmail.com



第32軍司令部壕の保存・公開を求める会 (32shuri.jp)

NPO法人 松代大本営平和祈念館

わたしたちNPO法人松代大本営平和祈念館は、世界的に重要な第二次世界大戦の戦争遺跡である「松代大本営地下壕」の歴史を、多くの人々が学び、交流する場を提供するとともに、平和の尊厳を伝え、人づくりの推進を図り、地域社会の活性化及び公益の増進に寄与することを目的として設立されました。

お申し込み  
● 講座を聴かせて11.11  
松代大本営工事犠牲者追悼、平和祈念のつどいを開催します。  
● 松代大本営地下壕地下壕見学  
会を開催しています。毎月第2土曜日、6月は特別見学会

「松代大本営地下壕」に関する調査研究をすすめることにも、見学に訪れるみなさんにより深く「地下壕」を理解していただくためのガイド活動などを行っています。

松代大本営平和祈念館トップページ (coocan.jp)

発表した「日米両政府に戦争しない・させないためのアピール」の発起人でもある。「沖繩は本土の捨て石にされたが、本土にはそのことがあまり知られていない。沖繩と長野、市民同士の訪問や戦争の学び合いも必要だ」という思いで、沖繩への理解を望む。

「平和」を何度も口に出して言わなければいけない生活がとにかく怖い。歴史をい

は営利のためには本平つどいは松代地下壕の祈念へ!